

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 7 年 6 月 3 日 (火)
クラス名(年齢)	うさぎ組(2歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

雨に興味を持ち、雨を感じてみる

<テーマの設定理由>

天気に興味が出てきて「今日は晴れ」「雨」と関心を持ち理解し始めているが、まだ雨をしっかりと認識していない子もいる様に感じた。雨を目や音など五感で感じられるよう雨の強い日に行う。

2. 活動スケジュール

レインハウスへの導入として行う。
雨の日の室内遊び中、雨脚が強くなった時にテラスに出て雨を感じる

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ビニール傘・空きミルク缶、プラスチックの大き目な容器

4、探究活動の実践

<活動内容>

雨の強くなりそうな日に行う。室内遊び中に雨が強くなってきたからとテラスに出る。大きな水溜まりに驚き見入る。波紋を見つけて指差して教えてくれるが、テラスの屋根に打ち付ける雨の音に気付き、どこから音がしているのかを見渡して探すと、屋根から聞こえる事に気付く。また、ミルク缶を伏せて、雨が落ちる所に置くとカン！と大きな音がして驚いた表情をする。プラスチック容器は音がしない為気付かなかった。音の出所を見つけるが、なんで音が鳴っているのかじっと見ていると、雨粒が落ちている事に気付き上を見上げ、雨粒が落ちてくるのをじっと待つ様子がみられた。傘をさして流れる雨をじっと見る子もいた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① テラスに出るとまず始めに大きな水たまりに目がいく。丸い波紋を見つけて指をさし「せんせい」と知らせ良く見る。気付いて指差して保育士や友達に教えてくれる子もいる。



③ 傘に雨が当たる音と流れるしずくを見入りよく見る。そばに寄ると、傘を流れ落ちるしずくに手を伸ばし触る子もいて「つめたい」と言っていた。



② 屋根に打ち付ける雨音に気付き周りをキョロキョロ見渡しだす。音がするが、どこからかわからない。「あっちな？」と、声掛けに首を振る子。屋根の音に気付き指差しで上を見上げて屋根を見て気づく子がいた。



④ ミルク缶に落ちる雨粒を見つけ、高い音に聞き入る。音に怖くて泣いてしまう子が1名いたが、その他は良く聞き、「こっちの方がきこえるかな？」「(しばらく聞き音がしない)あっち！」「ここ！」など、置き場所を一緒に考え、雨粒が落ちやすい場所を一緒に見つける事ができた。

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

水溜まりでは雨を目で見る事も出来たが、今回は音で雨を感じることが出来た。ミルク缶に落ちる音は高く大きい音だったので、驚いて泣くもいたが、その他の子は雨が落ちた事で音が鳴ったことが分かり、雨粒が落ちる瞬間を静かに待つ事ができた。缶の大小や別の素材を用意しても良かった。また、雨が粒で落ちてくる場所がある事も分かった子もいて、置く場所を「ここ！」と教える子もいた。(ずれていて鳴らないこともあった)しかし、なぜ鳴らないのかに気付き、「こっち」と置く場所を教える子もいたので、良く見ていたと感じた。次回はビニールに落ちる物を目で感じ触って濡れる等、子ども達の発見が出来るようレインハウスを作り子どもの発見を見守り援助していきたい。